

先輩からのメッセージ

『警察活動における情報通信』

私は現在、県情報通信部機動通信課で、警察通信施設の保全業務を行っています。私の主な業務は、警察独自の電話システム、通信ネットワーク及び通信指令システム(110番受付)の維持管理をすることです。

警察庁技官の業務は他にも、警察官が使用する無線機の管理、事故・災害現場の状況をビデオカメラで撮影し県警察本部へリアルタイムで放映する活動、各種通信施設の整備、パソコン等電子機器の解析等、多岐にわたります。様々な業務に携わることができるため、幅広く知識を習得することができ、自らの技術を向上させることができます。

私は採用されて2年目で、まだ分からないことばかりですが、上司や先輩からアドバイスをもらい、日々勉強しながら仕事をしています。

警察情報通信業務は、警察活動において非常に重要で、かつ必要不可欠なものです。私たち情報通信部の職員の仕事は警察官とは違い、国民と直接関わるものではありませんが、国の治安を守る警察を日夜技術的に支えており、他の職業では感じることができないやりがいや達成感があります。

皆さん、ぜひ警察庁技官として私たちと一緒に働きませんか。

平成 28 年採用(技官)

『入庁の決め手は』

参加した業務説明会で、警察庁事務官として職務に従事することは、「現場で働く警察官を支える仕事」であると知り、その責任の大きさとやりがいに魅力を感じました。

特に決め手となったのは、説明会や官庁訪問で、職員の方から親切丁寧に接してくれたことです。「こうした方々が働く組織で勤務したい」と強く思い、警察組織の一員となることで、知識の習得だけでなく、人格も磨いていけると感じました。

2 今の仕事の内容と苦労している点は

私は現在、予算に関する業務を担当しています。当局はもとより管区内の各県警察を含めた国費の予算管理や必要経費の要求に関する業務等を行っています。予算関連の仕事は、管区内の警察組織の活動の源となるものなので、スケールが大きく、とてもやりがいを感じています。まだまだ知識不足なので、システムの使い方や用語の意味を調べたり、先輩に仕事を教えてもらいながら勉強の日々を過ごしています。

3 職場の雰囲気は

入庁前は「警察組織は上下関係が厳しい」というイメージがありました。しかし、実際に入庁して働いてみると、そのイメージとは異なっていました。困っていると「どうしたの」と先輩方が優しく声をかけてくれます。また、わからないことを質問すると、親切丁寧に教えてくれます。明るく、風通しの良い働きやすい職場で勤務しています。

4 志望者へのメッセージ 警察庁事務官は「国民の安全安心を守る。」という誇りや使命感を実感できる仕事です。また、ワークライフバランスの制度や環境が整っているので公私共に充実した日々を過ごすことができることも魅力です。入庁後、様々な研修の機会があり、業務に必要な知識や技術をしっかりと学ぶことができますので安心して入庁できます。警察職員の一員として、皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

平成 30 年採用(事務官)